

令和5年度「環境おかやま大賞」受賞者

1 環境保全推進部門（個人／団体）

- (1) 青江 洋（倉敷市）

〈功績〉

スイゲンゼニタナゴをはじめとする岡山県内に生息する魚類の保護活動や小学生対象の環境学習を行うなど地域の環境保全活動の推進に貢献している。

また、倉敷市環境審議会委員等に就任し、第二次環境基本計画策定のための提言を行う等環境行政の推進に貢献している。

- (2) 株式会社岡山村田製作所（代表取締役社長 畑尾 直哉）（瀬戸内市）

〈功績〉

廃棄物の発生抑制や再資源化の取組、地域の文化や自然に適した工場緑化や工場が建設される前の生態系の復元等を目的として造成したビオトープ内でのホテルの鑑賞会を実施するなど地域の環境保全活動の推進に貢献している。

- (3) 浅口市寄島町アッケシソウを守る会（会長 藤澤 福夫）（浅口市）

〈功績〉

アッケシソウ群落の保護活動を行っており、生育に適した環境整備による生息範囲の拡大や浅口市と協働で、立ち入り禁止地区の設定、木道の整備を行うとともに継続的に小学生への環境教育活動も実施するなど地域の環境保全活動の推進に貢献している。

2 環境美化推進部門（団体）

- (1) 大野地区地域づくり協議会（代表者 北山 政士）（鏡野町）

〈功績〉

地域が一丸となって道路のごみ拾いや河川の草刈などを行い、環境美化及び環境保全活動に取り組んでいる。子どもから大人まで多くの方が参加することで、地域の環境美化意識の向上にも繋がり、周辺道路や河川等の不法投棄が少なくなるなど、地域の環境美化の推進に貢献している。

3 地球温暖化防止活動推進部門（個人）

- (1) 森 正弘（岡山市）

〈功績〉

岡山県地球温暖化防止活動推進員として、「アースキーパーメンバーシップ事業」や「クールチョイス県民運動」といった県事業のPRへの協力を行うほか、ESDIに関する学習支援やグリーンカーテンの推進など、地球温暖化防止活動に貢献している。

【裏面に続く】

4 循環型社会形成推進部門（個人/団体）

(1) 太田 光一（倉敷市）

〈功績〉

スーパーマーケット店舗で発生した余剰食品等をフードバンク活動に無償で効率的に提供する仕組みの「ハローズモデル」の開発者であり、農林水産省フードバンク利用促進検討会委員、岡山県事業系食品ロス削減モデル事業委員等に就任し、食品ロスの削減に関する知見を余すことなく提供している。

また、学校や地域社会、企業や団体等で食品ロスの削減等について研修の講師を務めるなど、循環型社会の形成に大きく貢献している。

(2) サッポロビール株式会社岡山ワイナリー（工場長 寺本 幸司）（赤磐市）

〈功績〉

ワイン製造過程で排出されるブドウの搾りかすを堆肥化するなど、工場から排出される副産物と廃棄物の大部分を再資源化等するとともに、製品に使用するPETボトルへの再生材利用率を35%にまで高め、更に50%を目標に取り組みを進めるなど、循環型社会の構築に向け貢献している。

(3) やさい塾（代表 井上 輝彦）（井原市）

〈功績〉

100歳でもやれる「持続可能な家庭菜園」をテーマに段ボールコンポストの普及啓発活動に取り組んでおり、市民への環境問題への意識づけや興味喚起に繋がり地域における廃棄物のリサイクルと家庭の生ごみ減量化に貢献している。

(4) 富婦人会（会長 築山 美子）（鏡野町）

〈功績〉

積極的に資源ごみの回収を行い、地域におけるごみの減量化と再資源化に努め、集団におけるコミュニティの活性化やごみの減量化の成果を上げており、循環型社会の構築に向け貢献している。